



NPO 法人ライフスキル研究所
<http://lifeskill-npo.org/>
<http://lifeskill.blog.so-net.ne.jp/>

ライフスキル研究所だより Vol.42

豊かな森を擁し、人と自然との距離が近いドイツ。芸術においては、北方ルネサンスやロマン主義の絵画、そして多くの優れた音楽を生んだ国でもあります。一方、ドイツの教育制度は日本と大きく異なり、かなり早期に将来の進路に関わる選択が行われます。そのことが子どもの生活にも親の意識にも少なからぬ影響を与えている様子。前回のイギリスに続き、今回はドイツからのレポートをお届けします。

ドイツ発

暮らしに根差したアートと子どもの生活

ベッドナルツ 瑠美(ドイツ在住)

山に視界がすぐにぶつかってしまう日本と異なり、少し郊外へ出れば見渡す限り広大な平野が広がるドイツ。庭には観賞植物や花だけでなく果樹や野菜を植え、旬の時期には採った果実でジャムを作り、ケーキを焼く、といった、四季を感じる生活がまだまだ健在な所です。都会は事情が違うものの、庭で収穫した〇〇・自家製〇〇が生活の一部であり、自慢の種にもなります。そして、人々が一目置くのは、食べ物に限らず、手作りの作品(アート)にも及んでいます。春のイースター・秋の収穫期・冬のクリスマスといった季節毎には手作り作品を売るバザー(素人の集まり)があちこちで開かれ、大概それは大盛況。そして、出品者たちはアーティストと呼ばれます。

子どもとアートの関わりに目を向けると、地域毎に催される格安の公共文化講座には必ず子ども対象のアート講座が取り入れられており、その内容はフェルト細工だったり焼きもの講座であったり、時期や地域によって様々です。幼稚園では、一日の始まりと終わりの時だけクラス担任が歌やお話をして、あとの時

間は子どもが自分でやりたいことを見つけて遊ぶ方法を探る幼稚園が多いようです。子どもに小さい時から求められるのは、自分の意志表示であり、こういった幼稚園のやり方は自主性や自立心を伸ばすやり方なのだろうかと思いました。

小学校に入ると、少々事情が変わってきます。ドイツの小学校は4年制で、一般に授業は半日です。親は、低学年の子に対しては本人のやる気・興味を見きわめてから習い事をさせる、勉強に力を入れる傾向が強いようです。ただ、5年生で大きく職業系と進学系に学校が分かれる、つまり4年生の成績でほぼ進路が決まってしまうので、4年になると親は本格的に子どもにプレッシャーをかけ始めます。低学年のうちにはノンビリしていたのに…と矛盾を感じる点でもあります。短い授業時間に勉強課題をこなすとなると、学校では残念ながら音楽や美術にはあまり重点が置かれていないようです。発想が豊か・創造性に富んでいる、などの点は評価されますが、技術面も評価対象になるのは、日本とあまり変わらないでしょう。

さて、わが子の幼稚園・小学校を通じて、ドイツならではの、と感心したのは、“木工”です。幼稚園では、子どもが自分で木片を選び、必要であれば鋸を使い、釘を金槌で打ちつけて自分の作品を作ります。男の子などはこうした工作コーナーが大好きです。小学校になると、糸鋸を使い、細かな形を作るようになります。ドイツといえば木の玩具、という土台は、幼少期より培われるのかもしれませんが。また、夏は夜明けが早く、夜10時くらいまで薄明るい状態で日が長いのに対し、冬は夜明けが遅く、午後4時過ぎには暗くなり始めるせいか、普段の生活でロウソクを使うことが多いのですが、ロウソクの風除けカバーを工作で作ることが多く、バザーでも木の作品やロウソクカバー類が必ず登場します。授業だけでなく、日々の生活に密着したものづくりに触れる土台があり、生活を通して幼少期からアートやクラフトへの愛着が育まれる土壌があるように思います。

活・動・色・彩～かつどういろいろ～

希望を形にしてみましよう！—小さなアートで希望をつなぐミニワークショップ

今年で設立10周年を迎える池田市公益活動促進協議会(いけだNPOセンター)の記念行事にて、展示とミニワークショップを行いました。14日の記念式典には、北摂を中心にNPO関係者が多数来場され、有意義な交流を深めることができました。15日のミニワークショップでは、大人から子どもまで多くの方々にミニアート体験をお楽しみいただきました。「希望を形にするワーク」は、昨年7月に行った講演&ワークショップ「アートで心の健康をまもる！」でも実施したものです。丸や四角の小さな紙に自分の希望のイメージを自由に描き、台紙に貼りつけていくという簡単なワークですが、紙のサイズが小さいので、好きな色をぬったり、シンプルな模様を描くだけでも、けっこうさまになります。「絵は苦手で…」という方も、いったんやり始めると集中して丁寧に仕上げていけます。一人で何枚も描いていた大人や子どももいました。一つ一つの希望は、実に様々な姿かたちをしています。それらが集まれば、また一つの大きな希望になるもの。今回は、東日本大震災被災者および被災地の復興・再生への思いを込めました。一人ひとりの小さな思いの灯が、希望を必要とするすべての人々に届くことを祈りつつ。

●5月14・15日●池田市公益活動促進協議会10周年記念行事●池田コミュニティセンター●



Information



Mark Rothko

★会員の皆様へ★

総会のご案内

下記のとおり第9回通常総会を行います。終了後には会員交流会も予定していますので、どうぞご参加ください。

●日時: 2011/6/19(日)
14:00-15:00 総会
15:00-16:00 交流会

※総会には議決権をもつ正会員が参加できます。正会員の皆様には通知をお送りしますので、出欠のご連絡をお願いします。

会費納入のお願い

4月より新年度がスタートしました。ぜひ引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

●正会員 8,000円
●賛助会員 10,000円(1口)
■振込先■
①池田泉州BK 池田駅前支店
普通 6013901
②ゆうちょ 14060-27579361

アートスペース子どもベイ 生徒募集中

池田教室: 第1・3(火)16:00-17:15
@池田コミュニティセンター
室町幼稚園教室: 第1・3(火)
16:10-15:30@室町幼稚園
(同園の年中・年長児対象)
★お申込・問合せはHP・TELにて

ライフスキルへの寄付

下記の方より寄付をいただきました。ご厚志に感謝いたします。
(※震災支援寄付金を除く)

KN 様	2,000 円
WR 様	2,000 円
SN 様	5,000 円
KC 様	100,000 円
HT 様	7,000 円

震災支援寄付金ご報告

前号でご協力をお願いしました東日本大震災への寄付について、会員・一般あわせて13名の方々より合計 111,000 円が集まりました。この全額を「東日本大震災現地NPO応援基金」に寄付しました。同基金は、(特活)日本NPOセンターによって運営されており、被災地で活動するNPOの支援に充てられます。皆様のご厚志に感謝いたしますとともに、今後も私たちにできる支援活動を模索し、取り組んでいく所存ですので、どうぞご協力お願いいたします。

●東日本大震災現地NPO応援基金の詳細はHPにて <http://www.jnpoc.ne.jp/?p=964>



■発行: NPO 法人ライフスキル研究所 ■編集: 小村みち
〒563-0017 大阪府池田市伏見台 1-32-17
TEL072-750-2797 FAX072-750-2805 E-Mail info@lifeskill-npo.org
URL <http://lifeskill-npo.org/> Blog <http://lifeskill.blog.so-net.ne.jp/>

研修・講演・ワークショップ講師
派遣します。ご依頼・お問合せ
は事務局まで。